

飯田市民向けアンケート調査

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問1	居住地区	お住まいの地区はどちらですか。 ①橋北 ②橋南 ③羽場 ④丸山 ⑤東野 ⑥座光寺 ⑦松尾 ⑧下久堅 ⑨上久堅 ⑩千代 ⑪龍江 ⑫竜丘 ⑬川路 ⑭三穂 ⑮山本 ⑯伊賀良 ⑰鼎 ⑱上郷 ⑲上村 ⑳南信濃	○中心市街地及びその周辺①②③④⑤17% ○リニア駅周辺⑥⑬18% ○その他地域65%
問2	性別	性別(①男性 ②女性)	○男44% 女56%
問3	年齢	年齢 ①18～24歳 ②25～29歳 ③30～39歳 ④40～49歳 ⑤5～59歳 ⑥60～69歳 ⑦70歳以上	○回答数多い順 01:④40歳代19% 02:③30歳代17% 03:②20後半15% 04:⑤50歳代15% 05:⑥60歳代12% 06:①24歳以下11% 07:⑦70歳以上11%
問4	婚姻の有無	未既婚(①未婚 ②既婚 ③その他)	○未婚32% 既婚64% その他3%
問5	職業	職業 ①経営者・役員 ②会社員 ③公務員・団体職員 ④自営業・フリーランス ⑤専門職(弁護士・医師・会計士等) ⑥派遣・契約社員 ⑦アルバイト・パート ⑧専業主婦・主夫 ⑨学生 ⑩無職 ⑪年金生活 ⑫その他	○高い順 01:②会社員36% 02:⑦アルバイト・パート13% 03:③⑧9% 05:④7% 06:⑪6% 07:⑨6% 08:⑤3% 09:⑥⑩3% 11:①2%
問6	業種	【経営者・役員、会社員、自営業・フリーランスの方】 お仕事の業種は何ですか ①農業・林業 ②製造業 ③住宅・建設業 ④小売業・卸売業 ⑤飲食業 ⑥不動産業 ⑦運輸業(旅客運送) ⑧運輸業(貨物運送他) ⑨金融・保険業 ⑩宿泊業 ⑪旅行業 ⑫その他サービス業 ⑬その他	○高い順 01:②製造業 25% 02:⑫その他サービス業16% 03:⑬その他13% 04:③住宅・建設業13% 05:①8% 06:④5% 07:⑧4% 08:⑤⑨2% 10:⑦2% 11:⑥0.4% ※⑩⑪0%
問7	同居家族の家族構成	同居している方の家族構成 ①一人暮らし ②夫婦のみ ③親子(2世代) ④祖父母と親子(3世代) ⑤その他	○高い順 01:③親子(2世代)50% 02:②夫婦のみ19% 03:④祖父母と親子(3世代)18% 04:①一人暮らし9% 05:⑤その他3%
問8	同居の子どもの有無 (最年少者の年齢)	同居しているお子さんはいらっしゃいますか。 同居しているお子さんのうち「一番年齢が若いお子さん」の学齢を教えてください。 ①未就学児 ②小学生 ③中学生 ④高校生 ⑤短大・大学・専門学校 ⑥社会人 ⑦その他 ⑧同居している子どもはいない	○高い順 01:⑧同居している子どもはいない49% 02:①未就学児15% 03:②小学生10% 04:⑥社会人10% 05:③中学生6% 06:④高校生4% 07:⑤短大・大学・専門学校2% 08:⑦その他1%

飯田市民向けアンケート調査

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問9	居住年数	飯田市に組み始めて何年になりますか。一時的に離れた方は通算年数をお答えください。 ①1年未満 ②1～4年 ③5～9年 ④10～19年 ⑤20年以上	○高い順 01:⑤20年以上73% 02:④10～19年14% 03:②1～4年6% 04:③5～9年4% 05:①1年未満1%
問10	出身地	あなたの地元(生まれ育った地域、20歳になるまでに長く住んだ地域)はどちらですか。 ①生まれてからずっと飯田市に住んでいる ②飯田市で生まれ育ち、他市町村に住んだこともあるが、現在は飯田市に住んでいる ③長野県内の他市町村出身 ④長野県以外の都道府県出身 ⑤海外出身	○①40% ②27% → 飯田市出身者67% ・飯田出身者の割合:男>女 ・「リニア関心なし」生来飯田在住者の割合多 ○③19% ④11% 50.4% ・問12で「住みにくい」→2割は県外出身者
問11	移住のきっかけ	【長野県以外の都道府県出身、海外出身の方】 飯田市に移住されたきっかけは何ですか。 ①結婚 ②仕事の都合(転勤・転職・就職など) ③子育て(子どもを育てる環境がよいと思った) ④移住に関する情報(webやイベントなど)に触れて、飯田市に魅力を感じた ⑤過去に仕事や観光などで訪れたことがあり、飯田市に魅力を感じて移住を決めた ⑥その他	○高い順 01:②仕事の都合39% 02:①結婚 ⑥その他28% 04:③子育て4% ※④・⑤は回答なし ○「その他」では親の転勤が多
問12	住みやすさ (全般的な暮らしやすさ)	飯田市の「住みやすさ」についてどのように感じていますか。 (生活・仕事・地域・住環境など全般的な暮らしやすさ) ①住みやすい ②どちらかといえば住みやすい ③どちらともいえない ④どちらかといえば住みにくい ⑤住みにくい	○①「住みやすい」30%(40代以上が高い) ○②「どちらかといえば住みやすい」34% ○リニアに関心がない人は、住みやすさ評価低
問13	住民視点からの感覚	現在、飯田市にお住まいになられて、以下の点にどのように感じていますか。 ①自然環境 ②街並み・景観 ③文化・スポーツ施設・余暇活動のしやすさ ④街の賑わい・活気 ⑤通勤・通学・買物などの利便性(生活利便性) ⑥住居(居住)条件(家賃や住宅価格、広さ) ⑦子育てのしやすさ(保育所・公園等) ⑧学校などの教育環境 ⑨介護・福祉の環境 ⑩病院などの医療の環境 ⑪地域の人の交流・コミュニティ ⑫災害リスクに対する備え	※「満足」・「どちらかといえば満足」の計 ○肯定的30%以上 01①自然環境87% 02②街並み・景観59% 03⑧教育環境37% 04⑦子育てしやすさ34% 05⑩医療環境33% 06⑪交流・コミュ33% 07⑤生活利便性31% ○満足度合計値<不満足度合計値 01④街賑わい50% 02⑤通勤利便性42% 03③文化余暇41% 04⑫災害リスク22%
問14	飯田市の良さ・魅力(いいところ)	飯田市ならではの良さ・魅力はどのようなところにあると思いますか。飯田のいいところ(自慢できること、誇りに思うこと、魅力を感じること等)についてご記入下さい。(自由回答)	○自然・山・川等に対する意見多 ○「人が温かい」が2番目に多い ○伝統文化・イベント、食、焼き肉、気候温暖
問15	居住希望	飯田市にこれからも住み続けたいと思いますか ①これからも住み続けたい ②できれば長野県内の他市町村に移りたい ③できれば県外に移りたい ④わからない	○①「これからも住み続けたい」65% ○「市外に移りたい」計12%(②4% ③7%) ○低年齢層ほど継続居住意向が低

飯田市民向けアンケート調査

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問16	リニア駅設置認知度	飯田市にリニア中央新幹線駅(リニア駅)ができますが、どの程度ご存じですか。 ①知っている ②何となく知っている ③聞いたことがある程度(余り知らない) ④知らない	○認知計85%(①60% ②25%)
問17	リニア駅設置への関心度	あなたは、飯田市にリニア駅が整備されることに関心がありますか。 (リニア開業に向けたまちづくりの推進を含む) ①とても関心がある・とても期待している ②やや関心がある・やや期待している ③あまり関心はない・あまり期待していない ④関心がない・期待していない	○「関心・期待がある」計72%(①28% ②44%) ○70歳以上、居住年数9年以下等が無関心多 ○住みやすさ、居住意向で高評価ほど関心高 ○地域活動参加者・人口減認知者の関心高
問18	リニアに期待すること	【問17で「1. とても関心がある」「2. やや関心がある」と回答された方 あなたが、リニア中央新幹線に期待することは何ですか ①友人・知人訪問や観光・仕事などで東京や名古屋に行きやすくなる ②羽田空港や中部国際空港など、国際便のある空港が利用しやすくなる ③飯田市内の街の整備が進む ④市内への企業進出が進む(雇用の創出) ⑤市内の企業のビジネスがやりやすくなる(市内の産業が活性化する) ⑥市内への観光客が増える(観光産業が活性化する) ⑦UターンやIターンなどが進む(人口の流出が減るなど) ⑧他県からの移住者が増える ⑨飯田市の知名度が向上する ⑩その他	○高い順(3割以上) 01:①東京・名古屋へ行きやすくなる84% 02:③市内の街の整備が進む42% 03:④企業進出が進む(雇用創出)35% 04:⑨飯田市の知名度向上34% 05:②国際空港が利用しやすくなる33%
問19	リニアに期待しない理由	【問17で「3. あまり関心がない」「4. 関心がない」と回答された方 リニア中央新幹線に「関心がない・期待していない」理由は何ですか ①リニア中央新幹線への飯田市の取組みについてよくわからない ②飯田市にはあまり効果がないと考えている(魅力や特徴が薄いため通過するだけ) ③東京や大阪に行く機会がない、行きたいと思わない(利用する機会がない) ④市の方針に対して共感できない ⑤悪影響・心配の方が大きい ⑥整備計画が遅れているなど、いつ開業するのかもわからない ⑦コロナ禍で移動が自粛されるなど、ライフスタイルが変化する ⑧利用予定駅まで遠い ⑨開業までまだ先の話であり、実感がわからない ⑩その他	○高い順(3割以上) 01:②通過するだけで効果微少62% 02:⑨開業がまだ先で実感わかない54% 03:③利用する機会がない36% 04:①飯田市の取組がよくわからない34%
問20	リニアの利用意向	あなたは、リニア中央新幹線を利用したいと思いますか。 ①積極的に利用したい ②たまに利用したい ③記念に利用してみたい程度 ④あまり利用したいとは思わない ⑤わからない	○①17% ②44%→利用意向ポジティブ61% ○利用意向:20代70%、70歳以上4割
問21	リニアの利用目的	あなたにとって、リニア中央新幹線はどのような使い方(利用目的)が考えられますか ①買い物・レジャー・食事など都市部への訪問 ②東京・名古屋方面以外の観光地へ訪問するための移動手段 ③海外旅行(国際空港までの利用) ④家族・親戚・友人・知人と会う ⑤通学(飯田市に住みながら、東京や名古屋の大学・専門学校などに通う) ⑥仕事(出張やイベント参加など) ⑦通院 ⑧冠婚葬祭 ⑨その他 ⑩特になし	○東京名古屋以外の観光地への移動60% ○買物レジャー等での都市部訪問58% ○都市部訪問は20代・積極的利用意向者に多

飯田市民向けアンケート調査

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問22	リニア開業後の不安要素	<p>リニア中央新幹線が開業した後のことに対する不安はありますか。 開業するかどうかではなく、開業したと仮定した場合についてお答えください。</p> <p>①開発により、まちの景観や自然環境が変わってしまう ②田舎の良さが失われる ③若者を中心に人口流出が進む ④市内の企業が県外へ流出してしまう ⑤新たな企業が立地することで、地元企業の経営に悪影響がある ⑥今まで宿泊で訪れていた観光客が日帰りで帰ってしまう ⑦移住者(日本人)が増えて、地域のコミュニティなどが変化する ⑧移住者(外国人)が増えて、地域のコミュニティなどが変化する ⑨多額の税金が使われることで、他の行政サービスの質が低下する ⑩開業により駅周辺など交通量が増加する ⑪その他 ⑫特に不安はない</p>	<p>○高い順 01:③35% 02:⑨32% 03:①26% 04:⑩25% 05:⑥19% 06:②19% 07:⑦11% 08:⑧11% 09:⑤10% 10:④8%</p> <p>○「特に不安なし」は14% ○他の行政サービスの質の低下32% ○開発に伴う景観や自然環境の変化26% ○駅周辺等の交通量の増加25%</p>
問23	リニア関連事業の認知度	<p>飯田市は、リニア中央新幹線の開業を見据えて、リニア将来ビジョンを策定し、目指すべき地域像を示し、まちづくりを推進しています。リニア中央新幹線及び関連事業について、以下の点をご存じですか。</p> <p>①所要時間 ②開業予定時期 ③リニア駅の位置 ④リニア駅周辺整備計画 ⑤リニア関連道路整備事業 ⑥リニア駅利用者数見込・効果 ⑦飯田市のまちづくりの方向性・戦略 ⑧工事中及び開業後の環境への影響・対策 ⑨事業進捗状況</p>	<p>○「知っている」「なんとなく知っている」計 ①80% ②74% ③81% ④44% ⑤64% ⑥16% ⑦14% ⑧17% ⑨19%</p>
問24	リニア関連情報の関心度	<p>リニア中央新幹線及び関連事業について、下記の情報に関心はありますか</p> <p>①所要時間 ②開業予定時期 ③リニア駅の位置 ④リニア駅周辺整備計画 ⑤リニア関連道路整備事業 ⑥リニア駅利用者数見込・効果 ⑦飯田市のまちづくりの方向性・戦略 ⑧工事中及び開業後の環境への影響・対策 ⑨事業進捗状況 ⑩運賃・料金</p>	<p>○「関心あり」「どちらかと言えば関心あり」計 ①84% ②72% ③69% ④67% ⑤67% ⑥44% ⑦58% ⑧62% ⑨62% ⑩77%</p>
問25	市の施策・方向性についての関心度	<p>飯田市の施策・方向性について、関心はありますか</p> <p>①若者が帰って来ることができる産業づくり ②自然と歴史を守り、活かし、新たな文化をつくる ③観光・交流の促進 ④移住・定住・二地域居住の促進 ⑤リニア駅周辺の整備</p>	<p>○「関心あり」「どちらかと言えば関心あり」計 ①81% ②73% ③71% ④61% ⑤68% ○50～60代では②の比率が8割前後 ○高校生以下の子どもがいる世帯では①が86%</p>
問26	リニア関連で知りたい情報	<p>その他、リニアの計画・事業の進捗、まちづくりの計画などで知りたい情報はありますか。 (自由回答)</p>	<p>★別添資料01</p>
問27	市の人口減少の認知度	<p>飯田市人口は2020年末現在99,256人です。2020年度に10万人を割り込む等全国傾向と同様に人口減少が進んでいます。飯田市で人口減少が進んでいることを知っていましたか。</p> <p>①知っている ②なんとなく知っている ③知らなかった</p>	<p>○「知っている」「なんとなく知っている」計68% ○「知らなかった」30% ○20代後半層の認知度低、60代以上認知度高</p>

飯田市民向けアンケート調査

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問28	地域振興・活性化に必要な取組	<p>飯田市の振興・活性化を図るために、どのような取り組みが重要だと思いますか。重要だと思うことを3つまでお選びください。</p> <p>①商業活性化等、街の賑わいの創出 ②中小企業・地場産業の育成・振興 ③企業誘致の促進 ④新規産業の創出・育成(起業の活性化) ⑤農業の促進、農産品ブランドの開発・生産拡大 ⑥芸術・文化・スポーツの振興 ⑦観光情報の発信、観光客の誘致促進 ⑧移住者の積極的な受け入れ促進 ⑨公共交通機関の充実 ⑩教育環境の充実 ⑪子育て環境の充実 ⑫医療・福祉面の充実 ⑬道路等都市基盤の整備 ⑭防犯・防災等安全・安心の充実 ⑮自然環境の保全 ⑯地域コミュニティ活動の創出・活性化 ⑰IT化、デジタル化の推進、通信環境の整備</p>	<p>○高い順(2割以上であったもの)</p> <p>01:⑪子育て環境の充実42%、 02:①商業活性化等、街の賑わいの創出37% 03:⑫医療・福祉面の充実33% 04:⑨公共交通期間の充実27% 05:②中小企業・地場産業の育成・振興26% 06:③企業誘致の促進24%</p> <p>○20～30代:子育て環境の充実多 ○20代前半:商業活性化等、街の賑わい創出多 ○人口減認知者ほど企業誘致促進比率高</p>
問29	コロナ後の飯田市の方向性	<p>新型コロナウイルス感染拡大は、在宅勤務、出張や観光減少、外出自粛等ライフスタイル全般に大きく影響を及ぼすことが今後とも予想されます。このような社会環境を踏まえ、飯田市に住むことや飯田市の今後の方向性について、お気持ちやお考えをお聞きます。</p> <p>①都会にはない自然に囲まれた飯田市の良さや魅力を再認識し、地域への愛着や価値意識が高まる ②整備内容に優先して、飯田市と大都市を結ぶリニアを活用した市独自の活性化が重要テーマになる ③リニアによる短時間で移住熱が高まり、交流をはじめとした地域づくりに積極的に取り組む必要が出る ④市独自の資源やリニア開通に着目した新たな経済復興策に街ぐるみで取り組むことが求められる</p>	<p>○「<u>「そう思う」「まあそう思う」</u>の計</p> <p>①73% ②63% ③60% ④51% ※20代前半層で①と回答した率は57% ※他の年代層で①と回答した率は7割超</p> <p>○「<u>「そう思わない」「あまり思わない」</u>の計</p> <p>①10% ②9% ③11% ④14%</p>
問30	リニア関連情報の提供量・頻度	<p>リニア中央新幹線の計画・事業の進捗状況や、関連したまちづくりの計画などの「情報」についてお伺いします。「情報量」「情報提供の頻度」は十分だと思いますか。</p> <p>①そう思う(情報が足りている、概ね把握している) ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない(情報がない、あまり把握できていない)</p>	<p>○①3% ②14% →「<u>情報足りているとの評価</u>」は16%</p> <p>○③29% ④18% →「<u>情報量不十分</u>」との評価は47%</p> <p>○30代以下では「<u>情報量不十分</u>」が5割以上 ○リニア関心なしが情報不十分とする比率59%</p>
問31	リニア関連情報の取得手段	<p>あなたが、<u>現在知っているリニア中央新幹線の計画・事業の進捗状況や、関連したまちづくりの計画などの情報はどのようにして知りましたか。</u></p> <p>①飯田市の広報紙 ②新聞(全国紙) ③新聞(地方紙) ④週刊いいだ ⑤中日いいだホームニュース ⑥タウン情報いいだ ⑦タウン紙 ⑧テレビ ⑨ラジオ ⑩インターネット(飯田市のHP) ⑪インターネット ⑫SNS ⑬友人・知人の話(口コミ) ⑭まちづくりイベント、各種説明会 ⑮その他</p>	<p>○高い順(5位まで)</p> <p>01:①飯田市の広報紙54%(←突出) 02:③新聞(地方紙)39% 03:⑬友人・知人の話(口コミ)33% 04:⑧テレビ19% 05:②新聞(全国紙)17%</p> <p>○①③は高年代層ほど比率高。年代による差大</p> <p>○20代以下では③の比率高 ○リニア関心度別 ※①③⑧②について、関心の有無で差が大 →関心なし層には、これら以外の手段必要</p>

飯田市民向けアンケート調査

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問32	リニア関連説明会・イベントへの参加意向	<p>今後、リニア中央新幹線に関連したまちづくり・施策について、飯田市が各種説明会やイベントなどを開催した場合、参加してみたいと思いますか。</p> <p>①ぜひ参加したい ②機会があれば参加したい ③参加したいとは思わない ④わからない</p>	<p>○「ぜひ参加したい」5% ○「機会があれば参加したい」45% ○高年代ほど参加意向度大(60代以上6割超) ○20代は3割台に留まる ○リニア関心なしでも26%が参加意向あり</p>
問33	市ホームページ閲覧経験	<p>飯田市のホームページは見たことがありますか。</p> <p>①定期的に見ている ②たまに見ている ③見たことがある程度 ④見たことがない</p>	<p>○閲覧経験率 ①7% ②24% ③40% ④27% ○20代前半の閲覧率低</p>
問34	市ホームページの閲覧内容	<p>【飯田市のホームページを見たことがある方】 飯田市のホームページではどのようなページ・情報を見たことがありますか。</p> <p>①戸籍・住民票 ②税・保険・国民年金 ③健康・医療・生活 ④上下水道 ⑤ごみ・リサイクル ⑥交通情報 ⑦教育 ⑧子育て ⑨入札情報 ⑩産業 ⑪各種計画 ⑫申請書ダウンロード ⑬募集・採用 ⑭相談窓口 ⑮市内施設案内 ⑯UIターン相談窓口 ⑰防災情報 ⑱休日夜間当番医 ⑲市役所の案内 ⑳飯田市の紹介 ㉑市長の部屋 ㉒飯田市議会 ㉓広報いいだ ㉔プレリリース ㉕市政への声 ㉖便利なサービス ㉗ふるさと納税 ㉘リニアのまちづくり・いいだ ㉙その他</p>	<p>○高い順(10%以上) 01:⑤ごみ・リサイクル44% 02:⑱休日夜間当番医32% 03:⑧子育て21% 04:①戸籍・住民票 ⑰防災情報18% 06:⑫申請書ダウンロード17% 07:③健康・医療・生活16% 08:⑲市役所の案内15.6% 09:②税・保険・国民年金15% 10:⑮市内施設案内14% 11:⑳飯田市の紹介10.7% ○17:㉘リニアのまちづくり・いいだ7%</p>
問35	参加している地域活動の内容	<p>あなたは、次にあげるような地域の活動に参加していますか。</p> <p>①町会・自治会等の活動や行事(祭りや一斉清掃、防災訓練など) ②教育や子育てに関する団体やサークルの活動 ③趣味や習い事の会、健康やスポーツの団体などやサークルの活動 ④上記以外のボランティア、NPO、市民活動などの団体やサークルの活動 ⑤青年商工会議所やライオンズクラブ等、地域の産業振興、活性化等の活動</p>	<p>○「積極的に参加している」「参加している」計 ①54% ②16% ③22% ④12% ⑤4% ○いずれか1つに参加している人:全体の63% ○20代の参加率が全般的に低い ○リニアに関心のある人が参加率高い</p>
問36	主に利用するメディア・情報源	<p>日常でよく見たり、聞いたりするメディア・情報源は何ですか。</p> <p>①テレビ ②webサイト(スマートフォン、PC) ③SNS ④ラジオ ⑤メルマガ ⑥ダイレクトメール ⑦新聞(全国紙) ⑧新聞(地方紙) ⑨タウン誌 ⑩飯田市の広報紙・HP ⑪その他 ⑫特になし</p>	<p>○高い順(2割以上であったもの) 01:①テレビ81% 02:②webサイト57% 03:⑧新聞(地方紙)36% 04:③SNS34% 05:⑦新聞(全国紙)32% 06:⑨タウン誌28% 07:⑩飯田市の広報紙・HP27% ○50代以上は新聞(地方紙)5割以上 ○60代以上は新聞(全国紙)6割以上 ○飯田市の広報紙・HP4割以上 ○20代はSNSが6割以上 ○30~40代はwebサイトが7割以上</p>

飯田市民向けアンケート調査

質問 番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問37	主に利用するSNS	<p>ふだん、よく利用するSNSは何ですか。</p> <p>①LINE ②YouTube ③Twitter ④Instagram ⑤facebook ⑥TikTok ⑦その他 ⑧SNSは利用していない</p>	<p>○高い順</p> <p>01:①LINE73% 02:②YouTube54%</p> <p>03:④Instagram28% 04:③Twitter21%</p> <p>05:⑤facebook12% 06:⑥TikTok 7%</p> <p>※⑧SNSは利用していない13%</p> <p><u>○年代が若い層ほど全般的な利用率高い</u></p> <p><u>○リアに関心のある人の方がSNS利用度高い</u></p>
問38	飯田市に対する意見・要望	飯田市に対するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。(自由記入)	★別添資料02

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
	性別	性別(①男性 ②女性)	○男50% 女50%
	年齢	年齢 ①18～24歳 ②25～29歳 ③30～39歳 ④40～49歳 ⑤5～59歳 ⑥60～69歳 ⑦70歳以上	○回答数多い順 01:③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 20% 04:⑥60歳代14% 05:②20後半12% 06:①24歳以下8% 07:⑦70歳以上6%
	居住地	居住地(都道府県) ①東京都 ②千葉県 ③埼玉県 ④神奈川県 ⑤愛知県 ⑥岐阜県 ⑦三重県	○回答数多い順 01:⑤愛知県37% 02:①東京都20% 03:④神奈川県13% 04:③埼玉県10% 05:②千葉県 8 % 06:⑦三重県 7% 07:⑥岐阜県 6%
問1	婚姻の有無	未既婚(①未婚 ②既婚 ③その他)	○未婚34% 既婚64% その他2%
問2	同居家族の家族構成	同居している方の家族構成 ①一人暮らし ②夫婦のみ ③親と子(2世代) ④祖父母と親と子(3世代) ⑤その他	○高い順 01:③親と子(2世代)47% 02:②夫婦のみ25% 03:①一人暮らし20% 04:④祖父母と親と子(3世代) 5 % 05:⑤その他 3 % ○一人暮らしの比率 (首都圏>中京圏) ○親と子(2世代)の比率 (首都圏<中京圏)
問3	同居の子の有無 (最年少者年齢)	同居しているお子さんはいらっしゃいますか。 同居しているお子さんのうち「一番年齢が若いお子さん」の学齢を教えてください。 ①未就学児 ②小学生 ③中学生 ④高校生 ⑤短大・大学・専門学校 ⑥社会人 ⑦その他	○高い順 01:⑥社会人37% 02:①未就学児25% 03:②小学生13% 04:⑤短大・大学・専門学校11% 05:④高校生 8 % 06:③中学生 4 % 07:⑦その他 1 %
問4	居住年数	現在お住まいの地域(都道府県)には、どのくらいの期間住んでいますか。(居住年数) ①1年未満 ②1～4年 ③5～9年 ④10～19年 ⑤20年以上	○高い順 01:⑤20年以上55% 02:④10～19年17% 03:②1～4年13% 04:③5～9年10% 05:①1年未満 5 % ○居住20年以上 (首都圏46%<中京圏64%)
問5	出身地	あなたの地元(生まれ育った地域、20歳になるまでに長く住んだ地域)はどちらですか 47都道府県+海外	○高い順(10%以上) 01:東海43% 02:南関東37% ※長野県 1%(8県)

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問6	出身地(長野県)	【出身地が「長野県」と回答】 出身地(長野県内)について、具体的な地域を教えてください。 ①北信 ②東信 ③中信 ④諏訪地域 ⑤上伊那地域 ⑥飯田市 ⑦下伊那地域	○内訳 ①北信4件 ③中信2件 ②東信⑥飯田市1件
問7	年収	世帯年収について教えてください ①200万円未満 ②200～400万円未満 ③400～600万円未満 ④600～800万円未満 ⑤800～1000万円未満 ⑥1000～1500万円未満 ⑦1500万円以上 ⑧わからない	○高い順 01:③400～600万円未満19% 02:②200～400万円未満19% 03:④600～800万円未満17% 04:⑤800～1000万円未満11% 05:⑥1000～1500万円未満10% 06:①200万円未満 7 % 07:⑦1500万円以上 3 % ※⑧わからない14% ○首都圏は中京圏に比し400万円未満、1000万円以上の比率が高い
問8	職業	職業 ①経営者・役員 ②会社員 ③公務員・団体職員 ④自営業・フリーランス ⑤専門職(弁護士・医師・会計士等) ⑥派遣・契約社員 ⑦アルバイト・パート ⑧専業主婦・主夫 ⑨学生 ⑩無職 ⑪年金生活 ⑫その他	○高い順 01:②会社員42% 02:⑦アルバイト・パート⑧専業主婦・主夫12% 04:⑪ 7 % 05:④ 6 % 06:③ 5 % 07:⑤⑥ 4 % 09:⑩ 4 % 10:⑨ 3 % 11:① 2 % 12:⑫0.3% ○有職者は全体の63%(アルバイト除く) ○テレワークと関係性のある①②③⑥は53% ○首都圏と中京圏で大きな差はなし
問9	仕事上の活用制度	【経営者・役員、会社員・公務員・団体職員、派遣・契約社員】 所属する企業や団体で、導入されている制度、利用可能な制度をすべてお選びください。 ①時短勤務制度 ②フレックスタイム制度 ③時差出勤制度 ④副業・兼業が可能 ⑤在宅勤務 ⑥リモートワーク ⑦ワーケーション ⑧上記のいずれも導入されていない	○高い順 01:⑤在宅勤務42% 02:導入なし34% 03:②フレックスタイム33% 04:⑥リモートワーク33% 05:③時差出勤32% 06:①時短勤務30% 07:④副業兼業14% 08:⑦ワーケーション4% ○在宅勤務・リモートワーク・時短勤務は首都圏高い
問10	所属企業等テレワーク取組状況	【在宅勤務・リモートワーク利用可能者】 所属する企業や団体のテレワークに対する取り組み状況を教えてください。 ①基本的にテレワーク(週4～5回) ②テレワークが週2～3回程度 ③テレワークは週1回程度 ④テレワークは月1～2回程度 ⑤制度としてはあるが、テレワークはほとんど行っていない ⑥その他	○高い順 01:⑥未導入51% 02:①週4～5回15% 03:②週2～3回14% 04:⑤未実施11% 05:③週1回程度6% 06:④月1～2回 3 % ○週1回以上比率(首都圏45%>中京圏24%)

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問11	テレワークの期限設定の有無	<p>【在宅勤務・リモートワーク利用可能者】 所属する企業や団体で、テレワークを導入していると回答された方にお伺いいたします。 テレワークは、コロナ禍の期間限定の制度ですか。(コロナ終息後も利用可能ですか) 決定していない場合、見通しでも構いませんのでお答えください。</p> <p>①コロナ禍終息後も利用可能 ②コロナ禍の期間限定の制度 ③コロナ禍終息後も利用可能かはわからない・未定</p>	<p>○高い順 01:①コロナ禍終息後も利用可能55% (首都圏59%>中京圏49%) 02:③利用可能か否か未定33% 03:②期間限定12%</p> <p>○コロナ禍終息後もテレワークによる働き方が一定の割合を占める見込み</p>
問12	コロナによる働き方・居住地に対する考えの変化	<p>【有職者】 コロナ禍によって、ご自身の今後の働き方・居住地に対する考えに変化はありましたか。最も当てはまるものを1つお選びください。</p> <p>①転職して地方に移住したい ②転職はせずに地方に移住したい ③現在の居住地と地方の二地域に住みながら、仕事をしたい(二地域居住) ④引越はせず、時々好きな地域に滞在して勤務するスタイルがよい(ワーケーション) (近場のホテルやリゾート地などの休暇先でテレワークで仕事をする) ⑤現在のエリアの中で在宅勤務に適した住居(マンションなど)に引越したい ⑥現在の住居・働き方を継続したい</p>	<p>○高い順 01:⑥現住居・働き方継続66%(首59・中73) 02:④ワーケーション 8%(首10・中7) 03:①転職して地方移住 7%(首8・中6) 04:⑤現エリアで在宅勤務 7%(首8・中6) 05:⑤二地域居住6%(首8・中3) 05:④転職せず地方移住6%(首7・中4)</p> <p>○移住・ワーケーション意向計27%(首33・中20) ○低年代ほど移住・ワーケーション意向高 ○高校生以下子どもありは②現状継続71% ○年収1000万円超は移住・ワーケーション意向41% ○テレワーク週4~5回は、ワーケーション19%</p>
問13	居住地に対する思い	<p>現在の居住地(生活環境・仕事環境・ライフスタイル)に対してどのように感じていますか。</p> <p>①自然環境 ②街並み・景観 ③文化・スポーツ施設・余暇活動のしやすさ ④街の賑わい・活気 ⑤通勤・通学・買物などの利便性(生活利便性) ⑥住居(居住)条件(家賃や住宅価格、広さ) ⑦子育てのしやすさ(保育所・公園等) ⑧学校などの教育環境 ⑨介護・福祉の環境 ⑩病院などの医療の環境 ⑪地域の人との交流・コミュニティ ⑫災害リスクに対する備え</p>	<p>○「満足」・「どちらかと言えば満足」の計 01⑤生活利便性61% 02①自然環境61% 03②街並み景観58% 04⑥住居条件58% 05⑩医療環境50% 06④街賑わい49% 07⑦子育てしやすさ45% 08⑧教育環境45% 09③文化余暇45% 10⑪交流コミュ33% 11⑨介護福祉31% 12⑫災害リスク31%</p> <p>○飯田市民に対するアンケートとの比較 ④街賑わい△39% ⑤生活利便性△30% ③文化余暇△24% ⑩医療環境△17%</p>
問14	(コロナ禍前)国内旅行の頻度(宿泊・日帰り)	<p>コロナ禍前の国内旅行の頻度を教えてください。</p> <p>【宿泊を伴う国内旅行】 ①1か月に1回以上 ②2~3か月に1回程度 ③半年に1回程度 ④1年に1回程度 ⑤それ以下</p> <p>【日帰り国内旅行】 ①1か月に1回以上 ②2~3か月に1回程度 ③半年に1回程度 ④1年に1回程度 ⑤それ以下</p>	<p>【国内宿泊旅行】(年1回以上の割合69%) ①月1回以上5% ②2~3か月に1回程度16% ③半年1回程度26% ④年1回程度23%</p> <p>○首都圏・中京圏の傾向に違いなし ○60代の旅行頻度低い(一般的状況と異質)</p> <p>【国内日帰り旅行】(年1回以上の割合69%) ①月1回以上14% ②2~3か月に1回程度24% ③半年1回程度19% ④年1回程度12%</p> <p>○首都圏より中京圏の方が頻度がやや多い ○20代の旅行頻度高い(一般的状況と異質)</p>

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問15	(コロナ禍前)国内旅行先選定時の重視項目	<p>コロナ禍前の国内旅行についてお伺いいたします。<u>国内旅行の行き先を決める際に重視することは何ですか。</u></p> <p>①歴史・伝統 ②芸術・文化 ③自然が豊か ④都会的な賑わい ⑤魅力的な食材 ⑥ショッピング ⑦海・マリンレジャー ⑧スキー等ウインターレジャー ⑨アミューズメント施設 ⑩温泉 ⑪祭り・イベント ⑫自動車で行ける ⑬バス・電車で行ける ⑭リゾート地 ⑮農業、酒造り、果物狩り、スポーツ等体験型観光 ⑯地域の人との交流 ⑰その他</p>	<p>○高い順(20%以上)</p> <p>01:⑩温泉59%(首63・中56) 02:③自然が豊か43%(首47・中39) 03:⑤魅力的な食材39%(首40・中38) 04:①歴史・伝統32%(首33・中30) 05:⑫自動車で行ける29%(首23・中34) 06:⑭リゾート地22%(首24・中21) 07:⑥ショッピング22%(首19・中24) 08:②芸術・文化21%(首23・中19) 09:⑨アミューズメント施設20%(首18・中23)</p> <p>○20代は、⑭リゾート地、⑥ショッピング、⑪祭りイベント⑨アミューズメント施設等のアクティブ系の要素に対する比率高い</p>
問16	地方での暮らしに対する関心	<p>あなたは<u>地方で暮らすことに関心</u>がありますか。(地方移住や、二地域居住、ワーケーションなど)将来的な可能性を含めてお答えください</p> <p>①移住 ②二地域居住 ③ワーケーション</p>	<p>○移住(首都圏40%>中京圏25%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うちタイミング5年以内(首31% 中23%) ・低年代ほど相対的に関心度高い ・未婚・一人暮らしの関心度高い ・5年以内に関し、年収1000万円以上20% 200万未満13%、600~800万円未満11% ・テレワーク週4~5日は、5年以内19%と高い <p>○二地域居住(首都圏36%>中京圏26%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うちタイミング5年以内(首41% 中25%) ・5年以内20代15%前後、60代相対的に低い ・年収1000万以上で5年以内が28%と高い ・テレワーク週4~5日は、週2~3日の5年以内が2割強と高い
問17	地方暮らしを検討するタイミング	<p>【Q16でいずれかで関心があると回答】</p> <p><u>地方移住や二地域居住、ワーケーションを具体的に検討するタイミング</u>はいつくらいだと思いますか。</p> <p>①すぐにも(1年以内) ②そう遠くない将来(2~3年以内) ③4~5年後 ④6年以上先 ⑤時期は決めていない、わからない ⑥関心はあるが検討はしないと思う</p>	<p>○ワーケーション(首都圏30%>中京圏22%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うちタイミング5年以内(首41% 中28%) ・5年以内20代15%前後、60代相対的に低い ・年収1000万以上で5年以内が比較的高い <p>○関心ある人 検討しない25% 時期未定30~40%</p>

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問18	移住先選定時重視項目	<p>【Q16でいずれかで関心があると回答】 移住したい場所・地域(候補地)はどのような点を重視して選定しますか。</p> <p>①実家から近い、アクセスしやすい(自分や配偶者) ②都会(現在の居住地)から近い、アクセスしやすい ③自然の多い環境で生活できる ④田舎過ぎない(自然と利便性のバランスがよい) ⑤住みやすい気候(温暖な気候) ⑥歴史・伝統がある地域 ⑦食が充実している(新鮮な魚、野菜等) ⑧仕事がある ⑨地域おこしなどやりがいのある活動がある ⑩農業(就農・家庭菜園等)ができる、支援・サポートがある ⑪スポーツが楽しめる環境 ⑫趣味が楽しめる(登山・キャンプ、サーフィン、ウインタースポーツなど) ⑬家賃・物価など生活コストが安い ⑭子育て・教育環境(自然と触れ合う等子どもがのびのび育つ環境) ⑮保育、就学、医療など子育て支援が充実している ⑯友人・知人が住んでいる ⑰地域住民が温かい ⑱IT環境、コワーキングスペース等地域情報化への取組に積極的 ⑲若者が多く活躍している(先進的な産業振興など) ⑳移住経験者が多くいる地域 ㉑住者に対する様々な支援制度が充実している ㉒移住に関するWebサイト(ランキング等)や移住体験者の評価が良い ㉓その他 ㉔わからない</p>	<p>○高い順(20%以上) 01:④田舎過ぎない60%(首63・中56) 02:⑤住みやすい気候55%(首55・中54) 03:⑬生活コストが安い46%(首47・中45) 04:⑧仕事がある43%(首45・中40) 05:③自然多い環境39%(首43・中34) 06:⑦食が充実39%(首42・中34) 07:①実家から近い31%(首33・中29) 08:②都会から近い31%(首32・中30) 09:⑰地域住民が温かい26%(首29・中21) 10:⑫趣味が楽しめる23%(首23・中23)</p> <p>○首都圏は中京に比し田舎過ぎない、自然の多い環境で生活、食の充実を重視する人多い</p> <p>○30代以下は、実家・都会から近いの比率高い</p>
問19	コロナが地方暮らしを考える契機となったか否か	<p>【Q16でいずれかで関心があると回答】 新型コロナウイルスは、地方で暮らすことに関心を持つきっかけの1つになりましたか。</p> <p>①とても影響した ②まあ影響した ③あまり影響していない ④影響していない ⑤わからない</p>	<p>○コロナが影響した42%(とても12% まあ30%) (首都圏51%>中京圏29%)</p> <p>○低年代ほど「影響した」との比率高い (20代では5割程度)</p>
問20	移住先決定状況	<p>【Q16でいずれかで関心があると回答】 移住したい場所・地域(候補地)は決まっていますか。</p> <p>①はっきりと決まっている(長野県) ②はっきりと決まっている(長野県以外) ③いくつか具体的な候補がある ④何となく興味のある地域がある ⑤特になし</p>	<p>○高い順(20%以上) 01:⑤特になし38%(首35・中42) 02:④興味のある地域あり32%(首28・中38) 03:③具体的な候補あり18%(首23・中11) 04:②決定済(長野県以外)8%(首9・中7) 05:②決定済(長野県)4%(首5・中2)</p> <p>○関心者のうち6割橋は何らかの関心あり ○特になし(強い関心なし)の比率中京圏高い</p>
問21	関心ある地域との関わり	<p>【Q20で「はっきりと決まっている」～「何となく興味のある地域がある」と回答】 興味・関心のある地域とどのように関わりがありますか。</p> <p>①実家(帰省先)がある ②観光やイベントなどで訪問したことがある ③仕事(出張等)で訪問したことがある ④移住体験や交流会などに参加したことがある ⑤コワーキングスペース・サテライトオフィス等の活動拠点がある ⑥スポーツの活動拠点がある ⑦友人・知人がいる ⑧地場産品などをよく購入している ⑨特に関係はないが、地域についてよく知っている ⑩その他 ⑪特に関わりはない</p>	<p>○高い順(10%以上) 01:②観光イベント訪問44%(首41・中48) 02:①実家(帰省先)あり26%(首28・中23) 03:③仕事訪問21%(首20・中22) 04:⑦友人・知人あり18%(首21・中14) 05:⑨関係ないが地域熟知18%(首19・中16) 06:⑧地場産品購入14%(首17・中10)い</p>

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問22	地方暮らしを検討時不安や懸念事項	<p>【Q16でいずれかで関心があると回答】 地方移住や二地域居住、ワーケーションを検討するにあたって、不安や懸念事項があれば教えてください。</p> <p>①家族の理解を得ること ②子どもの学校(転校)など ③仕事が見つかるか ④収入が減る(賃金が安い) ⑤今の仕事をやめたくない(今の勤務先の制度・状況の問題で難しい) ⑥今の人間関係を維持したい(崩したくない) ⑦移住先での人間関係・コミュニティになじめるか ⑧困った時に相談できる人がいない ⑨病院や介護サービスの充実度 ⑩商業施設や娯楽施設の充実度 ⑪学校や保育所等の充実度 ⑫車の運転、地域での移動手段 ⑬移住に向けた資金(転居費用等) ⑭生活コスト全般 ⑮地域の高齢化・過疎化 ⑯虫や動物などが多い環境 ⑰現在の生活を変える勇気がない ⑱移住先に関する情報が少ない ⑲どこから手を付ければよいかわからない ⑳その他</p>	<p>○高い順(20%以上)</p> <p>01:③仕事が見つかるか46%(首47・中45) 02:④収入の減(低賃金)37%(首40・中33) 03:⑦人間関係・コミュニティ35%(首37・中33) 04:⑨病院介護サービス充実35%(首34・中36) 05:⑭生活コスト全般32%(首36・中25) 06:①家族の理解27%(首25・中29) 06:⑬移住に向けた資金27%(首33・中19) 08:⑫地域での移動手段23%(首26・中19) 09:⑧相談者の不在21%(首22・中19)</p> <p>○首都圏は中京圏に比し、収入減、生活コスト全般、移住資金等金銭面の比率高い</p>
問23	飯田市の認知度	<p>飯田市(長野県)を知っていますか。</p> <p>①どのような地域か知っている ②何県にあるか程度は知っている ③聞いたことがある程度 ④知らない</p>	<p>○高い順</p> <p>01:②何県にあるか程度38%(首34・中43) 02:④知らない22%(首29・中15) 03:③聞いたことがある22%(首23・中21) 04:①どのような地域か承知18%(首15・中21)</p>
問24	飯田市訪問の有無	<p>【Q23で「どのような地域か知っている」「何県にあるか程度は知っている」と回答】 飯田市に行ったことはありますか。</p> <p>①住んでいたことがある ②旅行で行ったことがある ③仕事で行ったことがある ④その他の目的で行ったことがある ⑤行ったことはない</p>	<p>○高い順</p> <p>01:②旅行で行った41%(首34・中47) 02:⑤行ったことはない40%(首45・中37) 03:③仕事で行った13%(首12・中13) 04:④その他目的で行った12%(首13・中11) 05:①住んでいた2%(首3・中1)</p> <p>○飯田市来訪率(全体)34%(首27・中41) ○移住・二地域居住・ワーケーション等に関心がある人のうち、来訪者の比率が4割前後</p>
問25	飯田市への訪問回数	<p>【Q24で飯田市に行ったことがあると回答】 今までに何回くらい飯田市に行ったことがありますか。</p> <p>①1回 ②2回 ③3回 ④4回 ⑤5回以上</p>	<p>○高い順</p> <p>01:①1回36%(首47・中29) 02:②2回29%(首33・中26) 03:③3回18%(首12・中22) 04:⑤5回以上16%(首9・中21) 05:④4回1%(首0・中2)</p>

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問26	直近の飯田市訪問時期	<p>【Q24で飯田市に行ったことがあると回答】 直近で飯田市に行ったのは、どのくらい前ですか。 ①1年以内 ②2～3年前 ③4～5年前 ④5～10年前 ⑤11年以上前</p>	<p>○高い順 01:⑤11年以上前31%(首34・中28) 02:③4～5年前23%(首25・中22) 03:②2～3年前20%(首15・中24) 04:④5～10年前19%(首20・中19) 05:①1年以内7%(首7・中7) ○中京圏の方が首都圏より5年以内比率多い</p>
問27	飯田市の概要・魅力に関する関心度	<p>飯田市の概要・魅力について関心を持った点がありますか。 ①豊かな自然環境 ②立地(長野県の最南端) ③観光名所 ④歴史・文化 ⑤食 ⑥産業 ⑦都市規模(人口) ⑧その他 ⑨特に関心を持った点はない</p>	<p>○高い順 01:①豊かな自然環境61%(首59・中63) 02:⑤食45%(首44・中45) 03:③観光名所29%(首28・中30) 04:⑨特に関心点なし20%(首22・中17) 05:④歴史・文化19%(首21・中17) 06:②立地(県最南端)18%(首18・中19) 07:⑥産業9%(首11・中7) 08:⑦都市規模6%(首7・中4) 09:⑧その他1%(首0.5・中1.3)</p>
問28	地方暮らしの対象として飯田市をどう思うか	<p>飯田市の概要・魅力をご覧になった上でお答えください。飯田市について、観光・移住・二地域居住・ワーケーションの場所としてどのように思いますか。 ①観光 ②移住 ③二地域居住 ④ワーケーション</p>	<p>○関心あり(とても＋ややの計)の高い順 01:①観光67%(首66・中67) 02:②移住21%(首26・中17) 03:③二地域居住21%(首24・中18) 04:④ワーケーション20%(首24・中15) ○観光以外の関心度 首都圏>中京圏 ○全項目で低年代ほど関心のある比率高い</p>
問29	リニア開業に対する関心度	<p>2027年にリニア中央新幹線が開業すること(予定)に関心はありますか。 ①関心がある ②まあ関心がある ③あまり関心はない ④関心はない</p>	<p>○高い順 01:②まあ関心がある34%(首33・中35) 02:③あまり関心はない30%(首29・中31) 03:①関心がある19%(首19・中19) 04:④関心はない17%(首20・中15) ○関心あり53%(飯田市民との比較△19%) ○男性・20代の関心度が相対的に高い ○年収600万円以上の関心高い ○地方暮らしに関心ありの方がリニアの関心高い</p>

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問30	飯田市にリニア駅ができることの認知度	<p><u>飯田市には、リニア中央新幹線長野県駅が開設される予定があります。</u>(東京-飯田4時間⇒45分/名古屋-飯田 約2時間⇒25分)ご存じでしたか。</p> <p>①知っていた ②聞いたことがある気がする ③知らなかった</p>	<p>○高い順 01:③知らなかった57%(首63・中51) 02:②聞いたことがある28%(首24・中32) 03:①知っていた16%(首14・中18) ○飯田にリニア駅設置の認知度43% ※飯田市民85% ※首都圏37%<中京圏50% ○20代、70代が2割前後で相対的に高い ○年収1000万円以上で認知度50%以上で高い ○地方暮らし関心者の方が関心なしより高い</p>
問31	リニア開業が飯田市への関心を高める契機となる可能性	<p><u>リニア中央新幹線長野県駅の開業(予定)は、飯田市に対する興味・関心が高まるきっかけとなりますか。</u>(あなたご自身の関心が高まるかといった視点でお答えください)</p> <p>①とても関心が高まる ②まあ関心が高まる ③あまり関心は高まらない ④関心は高まらない ⑤わからない</p>	<p>○高い順 01:②まあ関心が高まる34%(首33・中35) 02:③あまり関心高まらない24%(首23・中26) 03:④関心は高まらない22%(首22・中22) 04:⑤わからない11%(首12・中11) 05:①とても関心が高まる9%(首11・中7) ○関心高まる43% ○低年代ほど高く20代は5割超 ○居住期間が4年未満で関心高まる比率高い ○地方暮らしに関心ありの方が比率高い</p>
問32	リニア開業により飯田市に関心が高まる場合の観点	<p>【Q31で「とても関心が高まる」「まあ関心が高まる」と回答した方】 <u>リニア中央新幹線の開業により、飯田市に対する興味・関心が高まるのは、どのような点ですか。</u></p> <p>①観光で行ってみたい ②移住に関心がある ③二地域居住に関心がある ④ワーケーションをする場所として関心がある (リゾート地や近場のホテルなどの休暇先でテレワークで仕事をする) ⑤飯田市で働きたい・起業したい ⑥飯田市について詳しく知りたい(リニア中央新幹線の間駅のある他地域との違い等) ⑦その他</p>	<p>○高い順 01:①観光で行ってみたい84%(首86・中81) 02:④ワーケーション18%(首25・中11) 03:②移住に関心16%(首22・中9) 04:③二地域居住に関心15%(首18・中13) 05:⑥飯田を詳しく知りたい13%(首15・中12) 06:⑤飯田で就業・起業6%(首9・中3) 07:⑧その他0%(首0・中0) ○高校生以下の子どもがいる人の方が移住・二地域居住・ワーケーション等の比率高い ○年収1000万円超の人はワーケーション28%と高い ○移住・二地域居住・ワーケーション関心ありの人にとって、飯田へのリニア駅設置が興味関心の高まるきっかけとなるのは30~35%</p>

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問33	リニア開業により飯田市に関心が高まる理由	<p>【Q31で「とても関心が高まる」「まあ関心が高まる」と回答した方】 リニア中央新幹線の開業により、飯田市に関心が高まる理由は何ですか。</p> <p>①居住地や勤務地からのアクセス時間が早くなる ②以前から行きたいと思っていた ③新しい技術・乗り物に興味がある ④飯田市のまちづくりに関心がある ⑤その他</p>	<p>○高い順 01:①アクセス時間短縮60%(首62・中58) 02:③新技術・乗物に興味38%(首44・中32) 03:④飯田まちづくりに関心19%(首20・中18) 04:②以前から行きたい14%(首11・中16) 05:⑧その他0.9%(首1.1・中0.6)</p> <p>○高校生以下の子どもがいるは③の比率高い ○全般的にどの理由も、移住・二地域居住・ワーケーション関心ありの人の方が高い</p>
問34	リニアが開業しても飯田市に関心が高まらない理由	<p>【Q31で「あまり関心は高まらない」「関心は高まらない」と回答した方】 リニア中央新幹線の開業により、飯田市への関心が高まらない理由は何でしょうか</p> <p>①駅に停車する本数が少なそう(利用しにくい) ②飯田市に魅力を感じない ③飯田市ならではの魅力がわからない ④リニア中央新幹線の間駅がある、他の地域の方が関心がある ⑤電車の移動は関心がない(ふだんの移動が自動車中心等) ⑥開業時期が先のことでよくわからない ⑦観光地へのアクセスが悪そう ⑧駅の周辺に何もなさそう ⑨その他</p>	<p>○高い順 01:⑥開業先でわからない30%(首29・中30) 02:⑤電車移動関心なし23%(首15・中29) 03:⑧駅周辺に何もなし19%(首19・中19) 04:③飯田魅力わからない19%(首22・中16) 05:①駅停車本数少なそう19%(首18・中20) 06:②飯田に魅力感じない18%(首23・中14) 07:⑦観光地アクセス悪そう9%(首10・中7) 08:④他地域の方に関心あり6%(首6・中7) 09:⑧その他4%(首5・中3)</p> <p>○首都圏で②、中京圏で⑤が高い</p>
問35	地方に関する情報の種類及び入手方法	<p>仕事、観光、移住等、地域に関する情報を何で見たり入手したことがありますか</p> <p>①TV番組・新聞・雑誌 ②ホテル・旅館や不動産会社など地元企業のWebサイト ③旅行会社や移住ランキング等、国内大手企業のWebサイト ④地域住民が発信するSNSやブログ・動画等 ⑤地域の自治体のHPなど ⑥地元の企業に電話やメールなどで直接問い合わせる ⑦友人・知人の話(口コミ) ⑧イベント・フェア ⑨地方のタウン誌 ⑩地域への現地訪問視察(移住や企業視察等) ⑪行政の窓口への相談(移住や起業相談など) ⑫その他 ⑬特に見たことはない</p>	<p>○高い順(上位5位)</p> <p>【仕事に関する情報】 01:⑬特に見たことなし63%(首62・中65) 02:①TV番組・新聞・雑誌19%(首19・中19) 03:②地元企業Webサイト19%(首9・中9) 04:③大手企業Webサイト8%(首9・中7) 05:④地域発信SNS・動画等8%(首9・中6)</p> <p>【地方の観光に関する情報】 01:⑬特に見たことなし40%(首40・中40) 02:①TV番組・新聞・雑誌38%(首38・中37) 03:③大手企業Webサイト26%(首23・中28) 04:②地元企業Webサイト25%(首24・中25) 05:⑦友人知人の話口コミ16%(首16・中16)</p> <p>【地方移住に関する情報】 01:⑬特に見たことなし62%(首61・中64) 02:①TV番組・新聞・雑誌18%(首20・中17) 03:⑤地域の自治体のHP9%(首11・中6) 04:③大手企業Webサイト8%(首9・中7) 05:⑦友人知人の話口コミ7%(首7・中7)</p>

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問36	地方発信情報の満足度	<p>【地方が発信する情報を見たことがある方】 地方が発信する情報に満足しましたか。</p> <p>①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤おぼえていない</p>	<p>○高い順 01:②やや満足44%(首42・中46) 02:⑤おぼえていない31%(首31・中32) 03:③やや不満16%(首17・中15) 04:①満足7%(首8・中6) 05:④不満2%(首3・中2) ○合計51%が満足 ○覚えていない=印象に残っていないが多い</p>
問37	地域暮らしに関し欲しい情報	<p>地方移住や二地域居住について、発信して欲しい情報はありますか。</p> <p>①仕事・就職に関する情報 ②住居・住宅の購入に関する情報 ③移住者への自治体の支援・サービスに関する情報 ④生活費(物価や光熱費、家賃など)に関する情報 ⑤医療、介護に関する情報 ⑥買い物など日常生活の利便性に関する情報 ⑦移住経験者の暮らしの様子、苦労した話、失敗した話 ⑧地域の交通に関する情報 ⑨災害に関する情報 ⑩子育て環境・子どもの教育、学校数やクラス数、子どもの人数などに関する情報 ⑪レジャー・娯楽に関する情報 ⑫サークル活動、ボランティア活動に関する情報 ⑬人口推移、高齢化、まちづくりの方針など行政情報 ⑭その他 ⑮特になし</p>	<p>○高い順(10%以上であったもの) 01:①仕事・就職32%(首39・中25) 02:②住居・住宅の購入32%(首35・中29) 03:⑥日常生活利便性31%(首34・中27) 04:④生活費(物価等)30%(首37・中24) 05:⑤医療介護30%(首35・中26) 06:③移住者自治体支援30%(首31・中28) 07:⑦移住経験者体験談22%(首25・中20) 08:⑧地域の交通20%(首22・中17) 09:⑨災害18%(首23・中14) 10:⑪レジャー・娯楽14%(首15・中13) 11:⑩子育て環境13%(首15・中11) ○首都圏が中京圏より情報を欲している比率高 ○低年代・移住等関心者ほど、①仕事・就職や ④生活費について高い ○移住等関心者 ○年収1000万円超⑤医療等③自治体支援高い</p>
問38	日常見聞きするメディア・情報源の種類	<p>日常でよく見たり、聞いたりするメディア・情報源は何ですか。</p> <p>①テレビ ②webサイト(スマートフォン、PC) ③SNS ④新聞 ⑤雑誌 ⑥タウン誌 ⑦ラジオ ⑧駅のポスターや、電車内の広告 ⑨屋外の看板・広告 ⑩メルマガ ⑪ダイレクトメール ⑫その他</p>	<p>○高い順(10%以上であったもの) 01:①テレビ74% 02:②webサイト67% 03:③SNS41% 04:④新聞26% 05:⑦ラジオ13% 06:⑤雑誌12% 06:⑧駅ポスター電車内広告12% ○20~30代はSNSが主要な情報源</p>
問39	よく利用するSNSの種類	<p>よく利用するSNSは何ですか。</p> <p>①LINE ②YouTube ③Twitter ④Instagram ⑤facebook ⑥TikTok ⑦その他 ⑧SNSは利用していない</p>	<p>○高い順 01:①LINE73% 02:②YouTube58% 03:④Instagram36% 04:③Twitter34% 05:⑤facebook19% 06:⑥TikTok 4% ※⑧SNSは利用していない10% ○年代が若い層ほどSNSの比率高い ○地方暮らしに関心ある方がSNS利用率高い</p>